

# 金融仲介機能の発揮に向けた

平成28年9月に金融庁から公表された「金融仲介機能のベンチマーク」の趣旨に基づき、平成28年度における当金庫の金融仲介機能の発揮に向けた取り組みとその実施状況を公表します。

## ※金融仲介機能のベンチマークとは

金融庁が平成28年9月に、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる多様な指標として策定、公表したものです。具体的な項目は、全ての金融機関が金融仲介の取り組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するために活用可能な「共通ベンチマーク」と、各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択できる「選択ベンチマーク」、そして各金融機関が任意・独自に設定できる「独自ベンチマーク」で構成されています。

基準日：平成29年3月31日



## 共通ベンチマーク

### (1)取引先企業の経営改善や成長力の強化

◎当金庫がメイン金庫として取引を行っている企業のうち、経営指標等の改善が見られた先数、および融資残高の推移

No.1	単位：社、億円		単位：億円		
	メイン先数	5,169	27年3月	28年3月	29年3月
	メイン先の融資残高	4,267	経営指標等が改善した先に係る3年間の事業年度末の融資残高の推移		
	経営指標等が改善した先数	3,393	2,162	2,368	2,911

※メイン先…地方公共団体、金融機関、公社、独立行政法人を除いた法人で、当金庫の融資割合が50%を超えている先

### (2)取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

◎当金庫が貸付条件の変更を行っている取引先における経営改善計画の進捗状況

No.2	単位：社			
	条変総数	好調先	順調先	不調先
中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	1,523	15	88	179

◎当金庫が支援した創業、第二創業の件数

No.3	単位：件
金融機関が関与した創業件数	48
金融機関が関与した第二創業件数	1

◎ライフステージ別の融資先数、および融資残高

No.4	単位：社、億円					
	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	10,551	1,085	3,320	3,524	1,213	1,409
ライフステージ別の与信先に係る事業年度末の融資残高	6,938	557	2,974	1,989	790	638

### (3)担保・保証依存の融資姿勢からの転換

◎当金庫が事業性評価に基づく融資を行っている先数・融資残高、および全融資先数・融資残高に占める割合

No.5	単位：社、億円、%	
	先数	融資残高
事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高	1,263	785
上記計数の全与信先数及び当該与信先の融資残高に占める割合	12.0%	11.3%

# 取り組み



## 独自ベンチマーク

当金庫は「地域産業振興部における経営改善指導」と「産学連携コーディネーターの活動」を独自のベンチマークとしています。

### ◎地域産業振興部による経営改善指導

地域産業振興部の職員が取引先を定期的に訪問し、営業店と協力して取引先の経営改善に取り組んでいます。

すべての経営改善支援取組み先における実績はP10「企業再生支援」をご覧ください。

経営改善モニタリング先・サポート先	205先
-------------------	------

### ◎産学連携コーディネーターの活動

当金庫が大阪府立大学へ常駐派遣している「産学連携コーディネーター」((株)だいしん総合研究所スタッフ1名)は、大阪府立大学とのスムーズな橋渡しにより、数多くの課題解決や新商品開発に貢献しています。

また、これまで産学連携コーディネーターを担当した4名の職員は専門的な課題にも対応できるスキルを有し、レベルの高い事業性評価のできる人材となっています。近年は、地方独立行政法人大阪産業技術研究所や環境農林水産総合研究所との連携が始まり、専門的なスキルの幅が広がっています。

産学官連携の活動実績についてはP11「産学官連携」をご覧ください。

産学官連携会員事業所数	849先	高度な技術相談に対応できる職員数	4名
-------------	------	------------------	----



## 選択ベンチマーク (抜粋)

当金庫の戦略等を踏まえ重要指標として選択した「選択ベンチマーク」における実績(一部抜粋)は次のとおりです。

### ◎事業性事業性評価の結果やローカルベンチマークを示して対話を行っている取引先数

No.5	単位：先
事業性評価の結果やローカルベンチマークを示して対話を行っている取引先数	514
事業性評価の結果やローカルベンチマークを示して対話を行っている取引先のうち、労働生産性の向上に資する対話を行っている取引先数	37

### ※ローカルベンチマークとは

経済産業省が平成28年6月に事業性評価の「入口」で活用するための「企業の健康診断ツール」として公表したものです。企業の経営状態を把握し、企業の経営者と金融機関等が同じ目線で対話を行うための基本的な枠組みです。

### ◎創業支援、販路開拓支援を行った先数、および、事業承継支援先数

No.16	単位：社	
創業支援先数 (支援内容別)	創業計画の策定支援	32
	創業期の取引先への融資(プロパー)	3
	創業期の取引先への融資(信用保証付)	15
	ベンチャー企業への助成金・融資・投資	31

No.18	単位：社	
	地元	海外
販路開拓支援を行った先数	31	0

No.21	単位：社
事業承継支援先数	13

### ◎運転資金に占める短期融資の割合

No.33	単位：社、億円、%		
	運転資金額①	短期融資額②	②/①
運転資金に占める短期融資の割合	4,385	508	11.6%